

みんなの広場



各個人・団体が趣向を凝らした演芸を披露

第46回市老人福祉大会 健康長寿を目指して

市民会館で市老人福祉大会がありました。これは、高齢者の生きがいづくりと交流の拡大を目的に、市と市老人クラブ連合会が毎年開催しているものです。大会は式典と講演寸劇、演芸発表の3部で構成。寸劇では伊万里警察署員が出演し還付金詐欺への注意を促したほか、演芸発表では25の個人やグループが歌や踊りなどを披露しました。



伊万里警察署の劇団『はちがめ110番』による寸劇



会場には書や工芸作品なども展示

2017 同和問題講演会

差別のない明るい社会を目指して

市民センターで同和問題講演会が開催されました。これは、8月の同和問題啓発強調月間の取り組みとして、市が毎年行っているものです。今年の講師は、人権講演で各地を巡演する落語家の桂文福さん。身近にある人権に関する話を、自作の相撲甚句や河内音頭などに仕立て、笑いを交えながら『平等な心』の大切さを語りました。



↑笑いを交えながら身近な人権の話をする桂文福さん

伊万里未来プランナー養成講座

自分の価値観（大切にしている思い）は

PORTO 3316 IMARI で伊万里未来プランナー養成講座がありました。これは、高校生を対象にグループワークや市内でまちづくり活動を行う人から話を聞くことなどを通じて、ふるさと伊万里の価値を再認識してもらおうと、市教育委員会が開催したものです。全3回のうち1回目のこの日は、自分の価値観を知り他人と共有する方法などを学びました。



↑互いの価値観を話し合い共有するグループワーク

県原子力防災訓練

迅速な対応で被害を最小限にするために

県内の自治体や関係機関、福祉施設などが参加して県原子力防災訓練がありました。地震による複合災害の発生を想定して実施され、市内では災害対策本部の設置運営訓練や住民避難、屋内退避訓練などが行われました。住民避難訓練では大川内公民館と山代中学校に住民49人がそれぞれ集合し、バスや自家用車で武雄市に避難しました。



関係機関が情報共有などを行うテレビ会議（防災センター）



↑大川内公民館では安定ヨウ素剤に見立てたあめを配布

『黒川町うちどく広め隊』出前講座

市内いっばいに『うちどく』の輪を

『黒川町うちどく広め隊』の初めての出前講座が、松浦公民館でありました。『うちどく推進室』と『伊万里うちどく推進ネットワーク』が協働して取り組む事業の一つで、今回は、松浦保育園児や松浦町の老人会会員を前に、絵本の読み語りをしました。今後も『絵本を通してつながる』をテーマに、『うちどく』の輪を広げる活動を続けます。



↑夢中になって読み語りを聞く松浦保育園児

市消防団夏季点検

日ごろの訓練の成果を披露

地域の防災に活躍している消防団の訓練の成果を披露する消防団夏季点検が伊万里消防署でありました。市内11分団から733人が参加し、分団ごとに通常点検、小隊訓練が行われました。また、今年度伊万里消防署に配備された新型はしご車や大川分団による腕用ポンプ操法、ラッパ隊によるラッパ吹奏が披露され、会場は熱気に包まれていました。



統率の取れた動きを披露した三里分団の小隊訓練



↑大川分団の力強い腕用ポンプ操法

↑新型はしご車

市長と語ろう『伊万里の夢づくり』座談会

地域の思いを受け止めます

黒川公民館で、市長と語ろう『伊万里の夢づくり』座談会がありました。塚部芳和市長が第5次総合計画に沿って市政の概要を説明したあと、参加者との意見交換を行いました。多目的運動広場の整備や、防災行政無線の活用方法、婚活支援の取り組み、イマリンビーチでの安全・安心の確保などについて、幅広く意見が寄せられました。



↑婚活支援の取り組みについて意見を述べる参加者